

衝撃吸収性

硬いセラミックタイル床などの場合、もしも転倒してしまうと致命的な事故につながる恐れがあります。バスナフローレ、バスナルティは弾力性をもった発泡シートで転倒時の衝撃を和らげます。特にバスナフローレは「衝撃吸収性重視タイプ」であり、自立入浴される一般浴室に最適です。また介護者がおらず、一人での入浴を余儀なくされる高齢者住宅の浴室にもおすすめします。

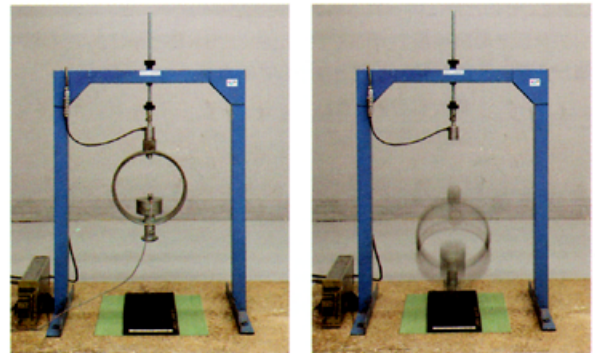
■ 各種床材の衝撃吸収性

床材	G 値			評価
	高い	低い		
バスナフローレ	110G			B
バスナルティ	129G			C
浴室用 ゴムフロア	143G			D
一般 ユニットバス床(FRP)	148G			D
一般 セラミックタイル	147G			D

衝撃吸収性 試験方法

ランク	結果	用途の目安
A	100G以下	体育館など激しく転倒する可能性が高いと予想される場所
B	100G超～115G以下	福祉施設・学校など、利用者の転倒の可能性が比較的高い場所
C	115G超～130G以下	通常の歩行だが、転倒時の安全性を望む場所
D	130G超	通常の歩行が行われる場所

体育館用鋼製床下地構成材第8項・床の硬さ試験(JIS A 8519) 加速度計を内蔵した、人間の頭部を想定したおもり(3.85kg)を規定の高さ(20cm)から床面に落下させ、衝突時の衝撃(G)を測定し、吸収力を判断します。



試験機 TOL R&D

データの判定目安

衝撃吸収性の指標となる最大加速度は、数値が大きいほど衝撃が大きく、衝撃吸収性が悪いと考えられます。